

『横浜マラソン2024』事業計画



2024年1月25日
横浜マラソン組織委員会

名 称

横浜マラソン2024 (英文名：YOKOHAMA MARATHON 2024)

開催趣旨

スポーツ振興や健康増進に寄与し、経済波及効果やシティーセールス効果が期待できる「する、みる、ささえる」すべての人が楽しめる大会を目指します。

開催日

2024年10月27日(日)

主催

横浜マラソン組織委員会

横浜市、神奈川県、(公財)横浜市スポーツ協会、(一社)横浜市陸上競技協会
横浜市スポーツ推進委員連絡協議会、横浜市町内会連合会、神奈川県走友会連盟
(公財)神奈川県スポーツ協会、(一財)神奈川陸上競技協会、神奈川県実業団陸上競技連盟
神奈川県スポーツ推進委員連合会、(一社)横浜青年会議所、(公財)よこはまユース
(社福)横浜市リハビリテーション事業団、(公社)横浜市身体障害者団体連合会
横浜商工会議所、(一社)横浜市商店街総連合会、(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー
(一社)横浜市医師会、横浜港運協会、神奈川倉庫協会、(一社)横浜みなとみらい21
(株)横浜国際平和会議場、山下公園通り会、横浜エフエム放送(株)
(株)アール・エフ・ラジオ日本、神奈川新聞社、(株)テレビ神奈川、(一社)神奈川県バス協会
(一社)神奈川県タクシー協会、(一社)神奈川県トラック協会

主管

(一社)横浜市陸上競技協会

協賛

【2023実績】

オフィシャルパートナー

E N E O S 株式会社、株式会社ローソン、株式会社アマダ、日産自動車株式会社、アンダーアーマー株式会社杉孝グループホールディングス、株式会社京三製作所、日清オイリオグループ株式会社
N T T 東日本、第一生命保険株式会社、レイズネクスト株式会社、アート引越センター株式会社
カシオ計算機株式会社、東急グループ、アクエリアス、株式会社 J E P L A N
リスト サザビーズ インターナショナル リアルティ、ダスキントール、株式会社フォトクリエイト
横浜ハンマーヘッド、三菱地所グループ、株式会社日立ハイシステム 2 1

横浜サポーター

株式会社横浜銀行、株式会社JTB、古河電池株式会社、富士通株式会社、株式会社両備システムズ
株式会社ありあけ、フィード・ワン株式会社、株式会社ネオジャパン、株式会社日新
N P O 法人おれんじハウス、横浜バイクオーター、株式会社キタムラ
資生堂グローバルイノベーションセンター (S/PARK)、フクダ電子株式会社、株式会社城山、
プライムケア東京株式会社、フレッシュ・デルモンテ・ジャパン株式会社、株式会社ミツハシ
RDC RUN CLUB、株式会社バイオマスレジソールホールディングス、カリフォルニア・レーズン協会
<横浜ジュニアサポーター>
よこはまコスモワールド

運営協力
協力
【2023実績】

横浜市スポーツ推進委員連絡協議会
首都高速道路株式会社、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
パシフィコ横浜、相鉄グループ、京浜急行電鉄株式会社、横浜高速鉄道株式会社
東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社、クィーンズスクエア横浜、ハクビ京都きもの学院
（一社）横浜南部市場管理協会、国立研究開発法人海洋研究開発機構、横浜市交通局
横浜市消防局、横浜市水道局、（公財）横浜市緑の協会、ヨコハマSDGsデザインセンター

後援
【2023実績】

スポーツ庁、観光庁、朝日新聞社、（公財）日本スポーツ協会

運営管理

横浜マラソン組織委員会事務局

競技規則

本大会の大会規程および日本陸上競技連盟競技規則を準用する

種目

- フルマラソン（42.195km） ■ペアリレー【第1走者（20.4km）、第2走者（21.8km）】
- みなとみらい7kmラン（約7km） ■車いすチャレンジ（約2.7km）
- ファンラン（ファミリー）（約2.7km） ■ファンラン（中学生）（約2.7km）

コース
（調整中）
参加資格

フルマラソン

ペアリレー

- 横浜ランドマークタワー前～みなとみらい大橋～横浜中央卸売市場本場～パシフィコ横浜～横浜赤レンガ倉庫～横浜税関～山下公園～三溪園・本牧市民公園～根岸駅前～横浜南部市場前（折り返し）～首都高速湾岸線（杉田～本牧ふ頭）～山下公園～大さん橋～横浜赤レンガ倉庫～横浜ハンマーヘッド～女神橋～パシフィコ横浜臨港パーク

※ペアリレー中継地点：磯子スポーツセンター前（聖天川西側交差点）

- 2006年（平成18年）4月1日以前生まれの方で、フルマラソン（ペアリレーは2人1組）を6時間以内に完走できる方

みなとみらい7Kmラン

- 横浜ランドマークタワー前～みなとみらい大橋～横浜中央卸売市場本場～パシフィコ横浜～横浜赤レンガ倉庫～横浜ハンマーヘッド～女神橋～パシフィコ横浜臨港パーク
- 2009年（平成21年）4月1日以前生まれの方で、約7kmのコースを60分以内に完走できる方

車いすチャレンジ（車いす・付添伴走（介助）可）

- パシフィコ横浜～横浜赤レンガ倉庫～横浜ハンマーヘッド～女神橋～パシフィコ横浜臨港パーク
- 2018年（平成30年）4月1日以前生まれの方で、約2.7kmを車いすで60分以内に完走できる方（車いすの仕様には制限はありません。）

ファンラン（ファミリー）

- パシフィコ横浜～横浜赤レンガ倉庫～横浜ハンマーヘッド～女神橋～パシフィコ横浜臨港パーク
- 小学生とその保護者（18歳以上）のペアで、約2.7kmを45分以内に完走できる方

ファンラン（中学生）

- パシフィコ横浜～横浜赤レンガ倉庫～横浜ハンマーヘッド～女神橋～パシフィコ横浜臨港パーク
- 中学生の方で、約2.7kmを45分以内に完走できる方

*ファンラン等の種目はスタート地点の変更により、距離が変更になる場合があります。

募集人数
及び参加料金

募集人数及び参加料金等

2024大会では、横浜マラソンをより幅広い層に楽しんでいただくため、2023大会でニーズの高かった「ペアリレー」「みなとみらい7kmラン」「ファンラン（ファミリー）」の募集人数を増やします。また、フルマラソンに多くのランナーに参加していただける大会となるよう参加料金を値下げします。

種目	2024大会		2023大会	
	募集人数	参加料金	募集人数	参加料金
●フルマラソン				
女性ランナー優先枠 ※1	6,000人	18,500円	6,000人	20,000円
地元優先枠	横浜市民枠	2,000人	2,000人	20,000円
	神奈川県民枠	1,000人	1,000人	20,000円
一般枠	10,600人	18,500円	14,100人	20,000円
チャレンジ枠 ※2	500人	18,500円	500人	20,000円
チャリティ枠 ※3	400人	53,500円 (参加料金含む)	400人	55,000円 (参加料金含む)
ふるさと納税枠 ※4	500人	118,500円 (参加料金含む)	500人	120,000円 (参加料金含む)
国外在住者枠	1,000人	20,000円	1,000人	21,000円
フルマラソン小計 ※5	22,000人		24,500人	
●ペアリレー ※6	300組 600人	32,000円	150組 300人	32,000円
●みなとみらい7kmラン ※6	4,500人	5,000円	3,000人	5,000円
チャレンジ枠 ※2	500人	5,000円	—	—
みなとみらい7kmラン小計	5,000人		3,000人	5,000円
●車いすチャレンジ（約2.7km）	100人	4,500円	100人	4,500円
●ファンラン【ファミリー】（約2.7km）※6	200組 400人	6,000円	50組 100人	6,000円
●ファンラン【中学生】（約2.7km）	100人	4,500円	100人	4,500円
合計	28,200人		28,100人	

- ※1 「女性ランナー優先枠」・「地元優先枠」の落選者は、自動的に一般枠の抽選に移行します。
- ※2 横浜マラソンへの参加機会を提供することで、ランニング等のスポーツを習慣化してもらうことを目的とした枠です。
- ※3 チャリティ寄附先として8団体程度を寄附先に設ける予定です。
- ※4 横浜市のふるさと納税となるため、横浜市外に在住の方が対象となります。
- ※5 フルマラソンの募集人数に満たない場合は、主催者判断により中止とする場合があります。
- ※6 2023大会においてニーズが高かった種目の募集人数を増やします。また、みなとみらい7kmランにもチャレンジ枠を設けます。

公募エントリー

2024年4月10日（水）～ 5月15日（水） [予定] ※インターネット申込

スケジュール

主なスケジュール		
2024年 1月	25日	組織委員会開催
3月	中旬	募集要項公表
4月	中旬	○女性優先枠・地元優先枠・一般枠・チャリティ枠・ふるさと納税枠・国外在住者枠・ペアリレー・みなとみらい7kmラン・車いすチャレンジ・ファンラン（ファミリー）・ファンラン（中学生）エントリー開始
		一般ボランティア募集開始
5月	中旬	○女性優先枠・地元優先枠・一般枠・ペアリレー・みなとみらい7kmラン・車いすチャレンジ・ファンラン（ファミリー）・ファンラン（中学生）エントリー締切
	下旬	○女性優先枠・地元優先枠エントリー当落通知入金開始
6月	上旬	○女性優先枠・地元優先枠エントリー入金締切
	中旬	○一般枠・ペアリレー・みなとみらい7kmラン・車いすチャレンジ・ファンラン（ファミリー）・ファンラン（中学生）エントリー当落通知・入金開始
	下旬	○チャレンジ枠・チャリティ枠・ふるさと納税枠・国外在住者枠エントリー締切
○一般枠・ペアリレー・みなとみらい7kmラン・車いすチャレンジ・ファンラン（ファミリー）・ファンラン（中学生）エントリー入金締切		
9月	下旬	公式ガイドブックや参加賞、ナンバーカード等の送付
10月	上旬	参加案内の配信開始
	中旬	ボランティアリーダー研修会開催、ボランティアウェア等の送付
		横浜マラソン2024オンラインEXPO開催（約2週間）
	27日	横浜マラソン2024開催

【手荷物預り・更衣会場及びスタート待機列図】 ※2023実績



スタート時刻等

スタート時刻、関門閉鎖時刻

種目	スタート時刻	制限時間
フルマラソン（ペアリレー）	8時30分	6時間30分
みなとみらい7kmラン	8時30分	70分
ファンラン（中学生）	9時40分	45分
ファンラン（ファミリー）	9時41分	45分
車いすチャレンジ	9時45分	60分

*コース上に関門地点を設置し、関門時刻に関門を通過していない選手は失格とします。

関門閉鎖時刻
【2023実績】

	場所	関門距離 (km)	関門時刻		場所	関門距離 (km)	関門時刻
スタート関門	スタート	0	9:10	第8関門	磯子スポーツセンター前	20.5	11:48
第1関門	展示ホール北交差点	3.5	9:35	第9関門	首都高56.1KP	27.3	12:46
第2関門	マリントワー前交差点	6.2	9:54	第10関門	首都高51.5KP	31.9	13:26
第3関門	錦町交差点	8.5	10:11	第11関門	港湾道路入口	36.5	14:08
第4関門	本牧陸橋北側	10.4	10:26	第12関門	マリントワー前交差点	39.1	14:30
第5関門	プールセンター入口交差点 付近	14.4	10:58	第13関門	横浜赤レンガ倉庫入口	40.4	14:44
第6関門	新森町高架橋付近	17	11:19	フィニッシュ関門	フィニッシュ	42.195	15:00
第7関門	南部市場前交差点折 返し	19.6	11:40				

*みなとみらい7kmランの関門は、第1関門及びフィニッシュ関門の設置となります。

PR・ゲスト

PR・ゲスト、コース上企画、関連イベント等

2024大会は、2023大会に引き続き、インターネットTVによる生中継を予定しています。インターネット環境があれば、全国どこでも視聴可能となることで、広く大会のPRを図ります。「大会応援ゲスト」についても、中継の企画と連動させながら、ランナーのみならずインターネットTVの視聴者も含めた、大会の盛り上げを行います。また、SNSなどの既存媒体の発信強化や各種メディアの活用等により、横浜マラソンの魅力を国内外に発信することで、参加者を増加につなげていきます。

【2023実績】

大会応援ゲスト

谷原章介 : 俳優
田中理恵 : 元体操選手 オリンピアン
アレックス・ラミレス : 元プロ野球選手

ゲストランナー

福島和可菜 : タレント
山崎勇喜 : 元陸上競技選手 オリンピアン

コース上企画

ラッキー給食・給水パフォーマンス

横浜マラソンの特色である「ラッキー給食」及び「給水パフォーマンス」の充実のほか、大会ホスピタリティを充実させることで、参加ランナーから選ばれる大会づくりを推進します。

ラッキー給食

地元横浜、神奈川を中心にご当地の食品を増やしていくとともに、全ランナーに提供できる数量を用意するなど充実を図っていきます。



給水パフォーマンス

パフォーマンス箇所を拡大し、ランナーへ絶え間ない応援を送っていくとともに、大人だけでなく、子どもにも多く参加してもらえる取組にします。



関連イベント等

プレイベント

横浜マラソンの開催PRを行うとともに、ランナーをサポートする体制を構築し、ランナーホスピタリティを充実させることで、大会価値を高めていきます。直前期には、ポップアップストアなどを実施し、開催機運を盛り上げます。

【2023実績】

目標タイム別ランニングクリニック

エントリー者への定期的・継続的なサポートとして「目標タイム別ランニングクリニック」を開催します。



親子 de FUN RUN

走りの基本となる「立つ」「進む」の動作や「身体づくり」など親子で参加できるランニングイベントを実施します。



WOMEN'S RUN CLUB
in YOKOHAMA

フルマラソン完走に向けた実技・座学・シューズフィッティングなどを開催します。



横浜マラソンポップアップストア

大会期に、歴代の大会関連グッズの展示や販売を実施し、大会の機運醸成を図ります。



大会期付帯イベント

大会期には、ランナーだけでなく、家族、友人をはじめとした来街者にも楽しんでいただける付帯イベントを実施し、大会の盛り上げ、まちのにぎわいづくりにつなげます。

10月
中旬

横浜マラソン ONLINE EXPO 2024

オンラインで2週間程度の開催を予定します。オンラインでの開催は、今まで参加が難しかった全国のランナーとのコミュニケーションが可能となります。誰もが楽しめる映像配信を中心とした企画や様々なブースを展開し、大会の機運を盛り上げ、横浜・神奈川の魅力を発信します。



大会
当日

横浜マラソンフェスタ2024

横浜マラソンフェスタにおいて、飲食ブースやステージイベントの充実など、ランナーだけでなく応援者や来街者にも楽しんでいただくコンテンツを用意します。



10月

周辺施設や商店街等との連携

都心臨海部やコース周辺の商業施設、商店街等と協力し、様々なサービスを提供することにより、参加ランナーやその応援者、家族等の回遊性の向上を図ります。



※前回大会まで実施していたオンラインマラソンは、リアルランニングサポート事業をより充実させていくため、2024大会では実施しません。

連携企画

チャレンジ枠対象事業

多くの市民等にランニングを習慣にいただき、一層の健康増進と体力の向上を推進するとともに、大会に向けた機運醸成を図るため、横浜マラソンの出走権（参加料金/有料）を付与する「チャレンジ枠対象事業」を実施します。「フルマラソン」に加えて、2024大会からは「みなとみらい7kmラン」が新たに対象種目となります。

【対象事業】

- 各区事業（主催、共催又は後援）
- 各スポーツセンター事業
- 横浜マラソン組織委員会事務局が主催または認めた事業

SDGsの取組

SDGs未来都市「横浜」として



「横浜マラソン2024」は、環境負荷の軽減を図り、多様な参加機会を提供することで、サステナブルな大会運営を進めます。

1 脱炭素の推進



再生可能エネルギーの活用や大会製作物への環境配慮素材の使用をさらに進め、大会運営による環境負荷を軽減し、脱炭素を推進します。

2 循環社会に向けたチャレンジ



大会で使用した製品や参加者から回収した衣服などを、資源としてリサイクルする仕組みを構築することで、参加者の循環型社会への意識向上、行動変容につなげます。

3 多様な参加機会の創出



女性にやさしい大会、子どもや車いすの方でも参加しやすい大会、友だちと一緒に参加できる大会、ボランティア参加しても楽しい大会など多様な参加機会を創出します。



これまでの取組例



再生ポリエステルを使用した
参加賞Tシャツ



グリーン電力による
再生可能エネルギーの活用



大会運営に使用する
電気自動車



古米を原料として製作した
「ボランティア活動袋」

大会コース

【参考】フルマラソン/ペアリレー (42.195 km) 【2023大会コース】



「横浜マラソン2023」と同様のコースを考えています。
※コースの一部変更を行う場合があります。

大会コース

みなとみらい7kmラン (約7km)



車いすチャレンジ・ファンラン (ファミリー・中学生) (約2.7km)



「横浜マラソン2024」収支予算
(2024年1月1日～2024年12月31日)

収 入	860,046,381円
支 出	860,046,381円
差 額	0円

【収入】

【単位：円】

	費 目	2024大会	2023大会	増 減	備 考
1	参加料金及び協賛金	718,892,000	766,107,000	▲47,215,000	
2	自治体負担金	130,000,000	130,000,000	0	
3	その他	500,000	500,000	0	
	小計	849,392,000	896,607,000	▲47,215,000	
	前大会繰越金	10,654,381	7,176,473	3,477,908	
	合計	860,046,381	903,783,473	▲43,737,092	

※2024大会の自治体負担金については横浜市及び神奈川県の前年度成立を前提として計上しています。

【支出】

【単位：円】

	費 目	2024大会	2023大会	増 減	備 考
1	広報・イベント費	102,000,000	110,000,000	▲8,000,000	
2	安全対策費	345,000,000	355,000,000	▲10,000,000	
3	大会運営費	325,892,000	352,607,000	▲26,715,000	
4	システム関係費	34,000,000	35,500,000	▲1,500,000	
5	事務局経費	35,500,000	36,500,000	▲1,000,000	
6	予備費	7,000,000	7,000,000	0	
	小計	849,392,000	896,607,000	▲47,215,000	
	次大会繰越金	10,654,381	7,176,473	3,477,908	
	合計	860,046,381	903,783,473	▲43,737,092	